（様式）

特別顧問・特別参与が従事した職務の遂行に係る情報

|  |  |
| --- | --- |
| 議題 | 新公会計制度アドバイザリー会議 |
| 日時 | 平成２６年７月２日(水)　１３時５０分～１６時０５分 |
| 場所 | 府庁本館１階　第１会議室 |
| 出席者 | (特別顧問・特別参与)：小幡特別参与　武田特別参与  (職員等)：清水監査委員  会計管理者兼会計局長  会計指導課 課長、課長補佐２名、主査３名  　　　　財産活用課 課長補佐１名、総括主査２名 |
| 論点 | ・減損会計について  ・減損会計に係る処分費用見込額の設定について（報告）  ・法人等出資金の表記について（報告） |
| 主な意見 | ・「大阪府立稲スポーツセンター」について、改築時に利用者数目標を設定していないか確認してもらいたい（【資料１－１】参照）。  ・「枚方保健所」について、平成26年４月に業務移管されることを、財務諸表の注記に記載するべきである（【資料１－２】③参照）。  ・減損額の測定時の府内標準単価を設定するため、建物撤去費（処分費用見込額）の事例収集をされているが、再調達価額の事例収集が現段階でできていない中で、処分費用見込額のみの標準単価設定はどうかと思う（【資料２】参照）。  ・法人等出資金明細表に「有価証券」等と区分表記を入れた上、上位に記載するべきである（【資料３】「変更後の表」参照）。 |
| 結論 | ・「大阪府立稲スポーツセンター」について、改築時に利用者数目標を設定していないか確認した上、報告する。  ・「枚方保健所」について、平成26年４月に業務移管されることを、財務諸表の注記に記載する。  ・建物等の用途変更等に伴い、減損額を測定するために必要となる再調達価額、処分費用見込額については、今後、具体的な事例が発生した際に、個別に額を算出することとする。  ・法人等出資金明細表に「有価証券」等と区分表記を入れた上、上位に記載する。 |
| 説明等資料 | ・議事次第  ・【資料１－１】減損の兆候を判断する指標一覧（新規財産）  ・【資料１－２】減損の状況  　　　①普通財産　減損対象件数等一覧  ②行政財産　減損認識件数一覧  　　③減損の兆候があるもの  　　④減損を認識したもの  ・【資料２】建物撤去費について  ・【資料３】法人等出資金の取り扱いについて（案）  ・【その他】第五回「新公会計制度普及促進連絡会議」次第 他 |
| 関係部局  （室課） | 財産活用課 |